

子どもたちと
いっしょに



絵本「おおきなかぶ」

子どもの絵本は子どもだけのものではなくおとなでも十分楽しめます。

おじいさんがかぶをかぶを植えたら、とてつもなく大きいかぶができました。おじいさんがかぶを抜こうとしたら、抜けません。おばあさんを呼んできて、二人で、「うんとこしょ、どっこいしょ」と引っ張っても抜けません。子孫を呼んで、犬を呼んで、猫を呼んできても抜けません。しまいにねずみまで呼んできて、力を合わせて抜いたら、やっぱりかぶは抜けました。

子どもといっしょに読んでいくと、「うんとこしょ、どっこいしょ！」と、瀬を真っ赤にして、一着に力を入れてしまいます。くり返しの楽しさと、登場人物がだんだん小さくなっていくことは、小さなもので力を合わせることの大切さに心をうたれ、長く出来ている「おはなし」だと、長い間たくさんの人に支持されてきました。

最後は、このように表紙を聞いて楽しみましょう。絵は、挿絵家の佐藤忠喜さんのもので、何度読んでみてもあきません。何度見ても、絵も素敵です。

利用者用検索機について

(ほんをさがすきかいについて)

- 読みたい本が、この図書館にあるか貸出しできるのか、どこにあるか、を知ることができます。
- 指で画面をさわるだけで、誰でも出来ます。
- 本の題名から、作者名から、出版社名から、自由にさがせます。

- 所蔵本であれば、館内のどの辺りにあるかが、表示されます。
 - わからないことは、職員におたずね下さい。
- (おねがい)・・・画面が動いて面白いので、小さいお子さんがさわりたいがごとく思います。古印章につながりますので、小さいお子さんは、ふいれないように、ご注意下さい。

《団体貸出しをご利用下さい》

- 読書会用の本(62タイトル110冊)があります。期間1ヶ月、読書会名で団体登録出来ます。
- 保育園、幼稚園は、園毎に100冊
- 学校は、クラス毎に、50冊
- その他の団体も、どんどんご利用下さい。
- 期間は、いつでも1ヶ月です。

「しろね図書館だより」第1号が

ようやく出来ました。準備室の頃からお手伝いいただいていたボランティアさん達に、また、本の整理や、おはなし会のお手伝いをお願ひする事になりました。本当に感謝の気持ちでいっぱいですが、発やかな晴れた心で、豊かなサービスをしたいと思っています。



しろね図書館だより

No. 1

発行 白根市立図書館

平成12年6月1日

「しろね図書館」です。ここは、市民の皆さんの図書館です。

「もっと大きな新しい図書館が欲しい」という市民の声があがり、図書館が出来ると迄、たくさんの方々の、知恵や力や、ご協力をいただいて、オープンすることが出来ました。今迄に、変りなく、お力添えをいただいて、共に暮らしのなかにいさずいた図書館になるようよろしくお願い致します。

「しろね図書館」職員です。どうぞよろしく!



館長
粟村 節子

殆どの職員が図書館のカウンターに立つのは初めてです。どうぞあたたかい目で応援していただきたいと思います。「こんにちは」を言合せて、気持ちのよい図書館を一緒につくっていきましょう。



奉仕係長
倉 隆英

多くの市民のみなさんの思いが込められてオープンする図書館です。気持ち良くご利用いただけます。心掛けてまいります。



主事
藤村 修

利用者の皆さんから、また来たかと思っただけの図書館になよう軽いフットワークと明るさをモットーに頑張ります。お気軽に声をかけ下さい。



主事
中村 幸子

オープンに向けて、今まで一生懸命準備してきました。たくさんの方が、図書館へ来てくださることを楽しみにしています。



主事
野沢 洋子

あかちゃんからおじいさん、おばあさんまで、多くの人が親しまれる場所。職員であり、元氣張っていきたく思います。いつでも声をかけ下さい。

